

故松原三郎博士遺品中の一文書、イディッシュ語で書かれた医史学史料

泉 彪之助・正橋 剛二

〔要旨〕 故松原三郎博士は、金沢医学専門学校、その後金沢医科大学（現金沢大学医学部）の精神医学の教授であった。遺品の中に、著者らは、イディッシュ語で書かれた文書を発見したが、それがニューヨーク市衛生局が一九〇七年にユダヤ人移住者のために発行した、結核の予防・治療に関する広報資料であることが判明した。この文書は、わが国で発見された医史学史料のうち、イディッシュ語で書かれた最初のものであるので、その内容、医学・言語・歴史的背景についてのべた。この文書は、多文化社会、多言語社会における医史学史料研究に言語研究が重要であることを示唆している。

キーワード——松原三郎、結核、イディッシュ語、ニューヨーク

故松原三郎博士は、旧金沢医科大学（現・金沢大学医学部）初代の精神医学教授である。遺品文書類の調査を行った正橋は、一枚の文書を発見し、泉が検討を行った。この文書は、一九〇七年にニューヨーク市衛生局がユダヤ人移住者あてに作成した、結核の予防・治療に関する広報資料で、イディッシュ語 (Yiddish) で書かれている。松原博士が、米

留学中に収集されたものと思われる。

この文書は、我国で発見された医史学史料の内、イディッシュ語で書かれた最初のものと思われるので、この文書の内容、医学・言語・歴史的背景について報告したい。後にのべるように、正橋は同じような内容を持つ英文文書、アメリカ自然史博物館における結核に関する展示のプログラム(英文)も発見しているので、これらとの関連についても報告する。

一、松原三郎博士とその遺品調査

松原三郎博士とその米国留学について、すでに詳細な報告がある(1)(6)ので、以下要点のみ記す。

松原三郎 精神医学者、金沢医学専門学校、旧金沢医科大学精神医学教授

一八七七年(明治一〇年)一〇月一九日生。一八九八年(明治三二年)第一高等学校医学部卒業。東京帝国大学医科大学病理学教室、精神病学選科生を経て、一八九九年(明治三三年)東京府巢鴨病院医員兼医科大学助手。一九〇三年(明治三六年)米国留学。一九〇五年(明治三八年)よりニューヨーク州立精神病院病理学研究所で研究。一九〇八年(明治四一年)欧州を経て帰国。一九〇九年(明治四二年)金沢医学専門学校教授。一九一〇年(明治四三年)医学博士。一九二三年(大正一二年)金沢医科大学教授。一九二七年(昭和二年)辞職、松原病院設立。一九三



写真 1 イディッシュ語文書第一面

六年(昭和十一年)死去。

松原三郎博士遺品の調査

寺畑喜朔名誉教授は、松原三郎博士(令息松原太郎博士)の依頼により、松原三郎博士遺品の整理と配分を行った。寺畑名誉教授から恵与を受けて、正橋は文書類を調査し、その中に一通の文書を発見した。この文書は、大きき21cm×17.5cmの一枚で、二面からなり、黒赤の二色刷りである(写真1、2)。この文書がヘブライ文字で書かれていたところから、正橋は泉に意見を求めた。泉はこの文書がイディッシュ語で書かれていることを知り、解読を行った。その結果この文書が、一九〇七年にニューヨーク市衛生局がユダヤ人移住者あてに作成した、結核の予防・治療に関する広報資料であることが判明した。

一、イディッシュ語 (Yiddish)

イディッシュ語は、東欧系ユダヤ人の共通語で、中高ドイツ語(Mittelhochdeutsch)を基礎とし、これにヘブライ語、ポーランド語、ロシア語などが加わって生まれた言語である。文字はヘブライ文字を用いる。⁽⁷⁾⁽⁸⁾

故郷パレスチナを追われたユダヤ人は各地に住みついたが、それぞれの土地でコミュニティを作って生活した。周囲の人々と交流する必要からその土地の言語を使用したか、ヘブライ文字を使うなど、独特の言語が生まれた。いわゆるユダヤ諸語である。ユダヤ諸語は約一五種あるが、使用人口が最も多かったのは、アシケナージ(東欧系ユダヤ人)



写真2 イディッシュ語文書第二面

の共通語であるイディッシュ語と、セファルディ（スペイン系ユダヤ人、現在のイスラエルではアジア・アフリカ系を指す）の共通語であったラディノ語またはジュデズモ語（スペイン・ユダヤ語）であった。とくにイディッシュ語は多くの土地で用いられたため、ユダヤ人全体の共通語となる勢いを示した。イスラエルではヘブライ語が公用語となっているが、イディッシュ語を公用語とすることを主張した一派があり、それらとの論争を経て、ヘブライ語が公用語となった⁽¹³⁾。現在でもイディッシュ語は、ユダヤ人社会における共通語の一種として重要な位置を占め、イディッシュ語による文学活動も年々盛んになっている。

第二次世界大戦前、イディッシュ語を使用した人口は約一〇〇万人で、これがホロコーストによって半数近くに減少したといわれる⁽¹⁴⁾。実際には移住した土地の言語に同化した人たちも多く、イスラエルの公用語がヘブライ語となった影響もあり、現在の言語人口はより少ないであろう。一九八〇年、一九九〇年に行われた国勢調査によれば、アメリカのイディッシュ語を話す人口は、それぞれ三二万人、二二万三千人で、十年間に三三パーセント減少した⁽¹⁵⁾。

三、この文書の概要と解読の過程

泉はこの文書を見たとき、ヘブライ文字で書かれていることから、最初ヘブライ語として解読しようとしたが理解できず、イディッシュ語であることに気づいて概要を把握できた。原史料の写真、発音のローマ字表記、英語の単語をまじえたドイツ語訳、日本語訳を記載したが、解読にはあやまりも多いと思われる。叱正を待つ。

この文書の解読と表記について、二、三付言する。

(一) この文書はイディッシュ語で書かれていたが、厳密にいうと、イディッシュ語とヘブライ文字で書かれた英語との混合文書である（マンハッタンの地域図のみ本来の英語で記載）。

たとえば、病院はイディッシュ語では *shpitol*（ローマ字で表記）だが、この文書では *HOSPITAL*（この表記の理由は後

述)と書かれている。またニューヨーク市、衛生局、歩道、運動場、チューインガムなどは、英語をヘブライ文字で表記している。その場合も英語の綴りそのままではなく、ニューヨーク市の city を、文字で書けば STYTY と、発音でいうと SITI と書き、また衛生局 (department of health) の of と health を OV' HELTH と綴っている。地名の Jay Street の J を示す文字が、ドイツ語と同様にヘブライ文字になく、イディッシュ語では複雑な綴りを用いるので、Jay Street という英語を併記している。この、英語との混合文書という点は、アメリカに移住したユダヤ人の生活実態を考えると理解できよう。上田は、これらの特徴をイディッシュ語自体の言語変容であるとしている⁽¹³⁾。

文書表題の KONSOMSHEN という語も、英語の consumption をヘブライ文字で表記したものである。一方でこの文書は、結核患者を Shvindzikhtig (ドイツ語の schwindstüchtig) と書いており、上の KONSOMSHEN が結核を意味することは間違いない。

(二) この文書のイディッシュ語は、現在標準とされるイディッシュ語と異なり、ドイツ語により近い。

たとえば「君たち、あなた」(ドイツ語の ihr) は、イディッシュ語では du だが、この文書では IHR と書かれている(この文書における IHR は、二人称複数でなく、二人称単数敬称であろう)。「そして」(ドイツ語の und) は、イディッシュ語では un だが、この文書では UN' UN'D の両方が用いられている。また月曜日(ドイツ語の Montag) は、イディッシュ語では Montik だが、この文書では MONTOG (または MONTAG) と綴られている。使われている単語もドイツ語起源で、ヘブライ語、ポーランド語など他の言語から来たものはほとんどない。これはイディッシュ語西方方言としての性格と、時代的影響によるものであろう。

民衆の自然発生活語として生まれたイディッシュ語には種々の方言があったが、イディッシュ語文学の作家たちは、その文学活動を通じて東方の諸方言を総合した標準語を生み出した⁽¹²⁾⁽¹³⁾。

一九一三年にイディッシュ語の正書法の基礎が作られ、一九二〇年にそれが手直しされた。YIVO (イディッシュ語

研究所) によって正書法が規定されたのは一九三〇年である。¹²⁾ それ以前に作成されたこの文書は、西イディッシュ語(ドイツ、オランダなど、西ヨーロッパ在住のユダヤ人が用いたイディッシュ語)と十九世紀のゲルマン語風の言い回し(ドイツチユメリズム)の特徴を備えていると思われる。上田によれば、一九世紀末にアメリカに移住して来た東欧系ユダヤ人は、それ以前に移住して来て一定の社会的地位を得ていたドイツ系ユダヤ人に対抗するため、イディッシュ語を正統のドイツ語に近いものに変えるよう努力したという。¹³⁾

(二) ローマ字表記には、大文字(キャピタル・レター)を用いた。また後記の理由で、発音・表記が実際と異なっている可能性がある。

イディッシュ語のローマ字表記には普通小文字が用いられるが、ここでは大文字を用い、二字でアルファベットが示される場合のみ、後の文字を小文字で示した。その理由は、Kl, Tsなどで後の文字が独立して発音される文字ではないこと、ヘブライ文字のローマ字表記であることを示すためである。

イディッシュ語には、アレフ (a. o. サイレント)、ツヴェイ・ユドゥン (ay, ev) のように、一文字あるいは二つの文字の組み合わせが複数の発音を示す場合がある。その場合、次に来る文字で判別されるサイレントのアレフを除き、発音補助符号で音価が区別されるが、実際の文書は発音補助符号が書かれないうちが多く、この文書でも発音補助符号が極めてわずかしか書かれていない。できるだけ標準の発音を参照しようとしたが、不明な場合があり、またこの文書のイディッシュ語が標準語と異なっているため、実際にどのように発音されたのか明らかでない。たとえば標準イディッシュ語の働く(ドイツ語の arbeiten) は arbejn だが、この文書では ARBALTEN となっており、発音が arbayten (アルバイテン) か arbeyten (アルベイトン) か決定できなかった。

またこの文書には、少数だが明らかな書き誤りがある。発音のローマ字表記には、それをそのまま記載した。

(四) ドイツ語訳に際して、英語から来た名詞は、文頭など英文でも大文字が用いられる場合を除き、語頭を小文字で

表記した。ドイツ語由来の単語で語源が明らかな場合は、IHR → (二人称単数敬称の) Ihr, KRIGIN → kriegen, MOYL → Maul など古い用法や俗語とされるドイツ語の単語もそのまま用いて訳し、Sie, bekommen, Mund などの語は用いなかった。語順もそのままとして現代ドイツ語の語順に直すことはせず、イデイツシュ語でよく見られる二重否定も訂正しなかった。

このドイツ語訳の目的は文書の内容を理解するためで、標準ドイツ語訳を作るためではないので、上のような処理も許されよう。

『イデイツシュ語文書原史料写真』(写真1、2)

『イデイツシュ語文書ローマ字表記』

(頁1 第一面左)

KONSOMShEN
 VI AZOY M'DARF ZIKh HALTEN
 UM DOS NIT TsU KRIGIN
 VI AZOY M'DARF ZIKh HALTEN
 UM DOS NIT TsU IBERGEBEN
 ShPAYET NIT
 DEPARTMENT OV HELTH
 SITI OV NYU YORK
 HERMANN M. BIGGS, M.D.
 MEDIKAL OFFISER

THOMAS DARLINGTON, M.D.
 KOMMISHIONER OV HELTH

(頁 2 第三面右)

1907

KONSOMShEN

IZ OYFTZEK^hTLIK^h FERURZAK^hT BAY DES MIESEN GEVOYNHAYT

TsU ShPAYEN

NEHMT DIEZE KARTE A HAYM

UND VAYST ZI TsU AYERE FAMILIE, FRAYNDE UND NAK^hBAREN.

KONSOMShEN IZ A KRANKHAYT FON DI LONGER, VELK^hE M'NEHMT IBER FUN ANDERE UN
VELK^hE VERT FERURZAK^hT NIT NUR BAY FERKHILUNGEN, OBVOHL A FERKHILUNG KEN MAK^h-
EN LAYK^hTER TsU KRIGEN DI KRANKHAYT.

DI MATERIE, VOS VERT OYSGEHUST UND OYSGENIST FUN A ShVINDZIK^hTIGER IZ-FUL MIT
LEBEDIGE DZHOYRMS (TOYBERKIL BAT^sILLI) VELK^hE ZAYNEN TsU KLEYN TSU ZAYN BEMER-
KT. DIEZE DZHOYRMS ZIND DIA URZAK^hE FUN KONSOMShEN UND VEN MEN ZAYA EYNATHEMT
IN DIA LONGER FERURZAK^hEN ZEYA DIA KRANKHAYT.

KRIGT NIT KEYN KONSOMShEN

HALT SIK^h VI MEGLIK^h GESUND, VAYL VOS ShTARKER S'IZ AYER KERPER DOS ShVEHRER IN FUN
DI KONSOMShEN DZHOYRMS TsU GEFUNEN A BODEN.

YEDERER BEDARF OPHITEN DI FOLGENDE REGELEN:

IHR ZOLT NIT VOYNEN, LEHRNEN, ODER ShLAHFEN IN TsIMEREN, IN VELK^hE S'IZ NITA KEYN

FRIShE LUFT. FRIShE LUFT UN ZUNN-ShEYN TUITEN DI KONSOMShEN-DZHOYRMS UN ANDERE DZHOYRMS, VOS FERURZAKhEN ANDERE KRANKHAYTEN-IBER DES ZEHT TsU HABEN ZAY BEYDE IN AYER TsIMER VI FIEL S'IZ MEGLIKh.

LEBT NIT IN ShTOYBIGE LUFT; HALT DI TsIMEREN REHN; REHNIGT AP DES STOYB MIT FAYKhTE KLEYDER UN VASH-BEZIMER; KEHRT NIT MIT TRUKENES BEZIM.

HALT EYN FENSTER FUN AYER ShLAHF TsIMER ABISEL OFEN BAYNAKhT; UN LUFTIGT DES TsIMER TsVEY ODER DRAY MAHL A TOG.

EST NIT MIT UNREHNE HEND; VASHT ZEY FRIER AP.

HALT NIT DI HEND ODER PENSILS IN AYER MOIL, ODER KENDI ODER TShIOYNNGAM VOS ANDERE HABEN GENITsT.

HALT NIT KEYN UNREHNE NOHZ-TIKhLIKh IN AYERE POKETS,
NEHMT A VAREME BAD IMVEYNIGSTENS EYN MAHL I DER VOKh.

FERLAST NIT KEYN FERKHILUNG ODER A HUST; NUR GEHT BALD TsU A DOKTOR ODER IN A DISPENSERI (ZEHT LETsTE ZAYTE)

(頁3 第1面左)

VI AZOY TsU VEREN GEZUND OYB IHR HOT KONSOMShEN
OYB IHR ODER YEMAND FUN AYER FAMILIE HOT KONSOMShEN, MUST IHR OPHITEN DI FOLGEN-
DE REGELEN, OYB IHR VILT VEREN GESUND:

WARFT NIT AROYS AYER GELD AF PATENTIDTE MEDUTsINS ODER REKLAMIRTE HEYL-MITLEN,

NUR GEHT TsU A DOKTOR ODER IN A DISPENSERI (ZEHT LETsTE ZAYTE), OYB IHR GEHT BETs-
 AITENS, KENT IHR VERIN OYSGEHEYLt, OYB IHR WART KEN ZAYN AZ S'VET ZAYN TsU ShPET.
 TRINKT NIT KEYN ShNAPS ODER ANDERE SORTEN LIKer.

ShLAHFT NIT IN EYN BET MIT A ANDER PERZON UN OYB MEGLIKh ShLAHFT IN A BEZUNDEREN
 TsIMER.

GUT ShPAYZ, REHNE LUFT UND RUEH ZAYNEN DI BESTE HEYLUNG MITLEN, ZAYT AF DER
 FRISHER LUFT UND ZUNN-ShEYN VI FIEL S'IZ MEGLIKh.

HALT AYERE FENSTER OFEN VINTER UN ZUMER, BAYTOG UN BAYNAKhT,

OYB IHR ZAYT NUR GUT AYNGEDEKT, VET IHR ZIKh NIT TsUKIHLEN.

TRET ARAYN IN A SANATORIAM BIZ VANED IHR KENT NOKh UN S'IZ NIT TsU SPET.

A FORZIKhTIGER UN REHNER ShWINDZIKhTIGER IZ NIT GEFEHRLIKh FIR DI YENIGE MIT VELKhe
 ER LEBT ODER ER ARBAYT TsU ZAMEN.

IBERGEBT NIT ShVINDSUKhT TsU ANDEREN.

FIELE ERVAKSENE MENSHeN UND KINDER HABEN KONSOMSHeN, ALAYN NIT VISENDIG DERFUN.
 UN KENEN DOS IBERGEBEN TsU ANDERE IBER DES ZAL YEDERER ZOGAR GESUNDE MENSHeN
 OPHITEN DI FOLGENDE REGELEN:

SPAYET NIT AF DI SAIDVOKS, PLEI GRAUNDS ODER AF DI FLORS FUN AYER HOYZ ODER SKUL; SI
 FERShPRAIT KRANKHAYT UN S'IZ GEFEHRLIKh MIES UND UNGESETZLIKh

OYB IHR MUST ShPAYEN, ShPAYET IN A RIHNShTAK ODER IN ShPAY-KESTLIK, VOS ZEYNER HALB

ANGEFIELT MIT VASER

VEN IHR HUST ODER NIST, HALT A TASHEN-TIKHEL IBER AYER MOIL ODER NAHZ.

NEHMT DIEZE KARTE A HAYM UN VAYST ZI TsU AYER FAMILIE.

(頁 4 第 1 面右)

FRAYE DISPENSERIES UN KLINIKEN

FIR DIA HEYLUNG FUN ShVINDZIKHTIGE:

MANHATTAN:

I HARLEM HOSPITAL DISPENSERIE, 136TE STRASSE UN LENOKS EVENYU; OFEN YEDER VOKHER-IGEN TOG FUN 3 BIZ 4 UHR NOKHMIT.

II PRESBITIRIAN 70TE STRASSE UN MERISER EVENYU; OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG FUN 1.30-3.30 NOKHMITOG

III VANDERBILT KLINIK 60TE STRASSE UN AMSTERDAM EVENYU OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG FUN 1.30 BIZ 3.30 NOKHMITOG; AM DIENSTOG, DONERSTOG UN ZAMSTOG OYKH OFEN FUN 9.40 BIZ 11 UHR FRIE.

VI DEPARTMENT OV HELTH, 55TE STRASSE IND? 6TE EVENYU; OFEN FUN 10 UHR IN DER FRIH BIZ 4 UHR NOKHMITOG YEDER VOKHERIGEN TOG. AM MONTOG, MITVOKH UN FRAYTOG OYKH OFEN FUN 8 BIZ 9 ABENDS.

V NYU YORK HOSPITAL, 8 VEST 16TE STRASSE OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG FUN 2 BIZ 2.30 NOKHM.

VI BELLEVI HOSPITAL DISPENSERIE, ENDE FUN DER IST 26TE STRASSE OFEN YEDER VOKHERIGEN
TOG FUN 1 BIZ 4.30 UHR NOKHMITOG

VII GOVERNIR HOSPITAL VATER STRASSE UND? IN ENDE FON GOVERNIR STRASSE, OFEN
MONTOG, MITVOKH UND? FRAYTOG FUN 2 BIZ 4 UHR NOKHMITOG¹²

VIII NYU YORK DISPENSERI, 137 SENTER STRASSE; OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG FUN 11 BIZ 12.
30 NOKHM.

BRUKLIN:

DEPARTMENT OV HELTH, 361 DZHEAY STRASSE (Jay str.)
OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG FUN 2 BIZ 4 NOKHMITAG

BRUKLIN SITI DISPENSERIE; 11 TILLARI STRASSE Tillary str. OFEN YDER VOKHERIGEN TOG FUN 2
BIZ 4 NOKHMITOG.

DI BRONKS:

DEPARTMENT OV HELTH, 3TE EVENYU UND ST. PAULS PLEYS OFEN YEDER VOKHERIGEN TOG
FUN 2 BIZ 4 NOKHMITOG

FIR VAYTERE INFORMEYSHON KERT ZIKH TSU DR. DN. S. BILLINGS, TSHEYF OV DIVISHEN FUN
ANSTEKENDE KRANK-HAYTEN, DEPARTMENT OV HELTH, 55TE STRASSE UN 6TE EVENYU; N.Y.
SIT.

「イディッシュ語文書の英単語を交えたドイツ語訳」

(大文字だけの単語は解読できなかったところ、その部の日本語訳は、推定で作成した)

(頁 1 第一面左)

Consumption

Wie, bedarf es, sich halten

Um das nicht zu kriegen

Wie, bedarf es, sich halten

Um das nicht zu übergeben

Speiet nicht

Department of Health

City of New York

Hermann M. Biggs, M.D.

Medical Officer

Thomas Darlington, M.D.

Commissioner of Health

1907

(頁 2 第二面右)

Consumption

ist aufichtlich verursacht bei der miesen Gewohnheit

zu speien

Nimmt diese Karte nach Hause

und weist sie zu Ihrer Familie, Freunde und Nachbarn.

Consumption ist eine Krankheit von dem langen (Verlauf), welche nimmt über von anderen mit und welche wird

verursacht nicht nur durch Verkühlungen, obwohl Verkühlung kann machen leichter zu kriegen die Krankheit.

Die Materie, was wird ausgehust oder ausgeiest von einem Schwindsüchtiger ist voll mit lebendigen germis (Tuberkel Bazilli) welche sind zu klein zu werden bemerkt. Diese germis sind die Ursache von consumption und wenn man sie einatmet, in dem langen (Zeit) verursachen sie die Krankheit.

Kriegt nicht keine consumption

Halt Sich wie möglich gesund. weil was starker ist Ihr Körper das schwerer darin von die consumption germis aufzufinden das Boden.

Jeder bedarf befolgen (ophüten) die folgende Regeln:

Ihr sollt nicht wohnen, lernen, oder schlafen in Zimmern, in welchen es gibt nicht keine frische Luft. Frische Luft und Sonnenn-schein töten die consumption-germis und andere germis, was verursachen andere Krankheiten-über das sieht zu haben sie beide in Ihrem Zimmer wie viel so möglich.

Lebt nicht in staubiger Luft; halt die Zimmer rein; reinigt das Staub auf mit feuchten Tücher und Wash-Besen; kehrt nicht mit trokenem Besen.

Halt ein Fenster von Ihrem Schlafzimmer ein bisschen offen bei Nacht; und luftigt das Zimmer zwei oder drei mal ein Tag.

Isst nicht mit unreinen Händen; wascht sie frither auf.

Halt nicht die Hände oder pensils in Ihrem Maul, oder candy oder chewing-gum was andere haben genieesst.

Halt nicht kein unreines Nase-Tüchlein in Ihren pockets,

Nimmt das warme Bad inwenigstens einmal eine Woche.

Verlasst nicht keine Verkühlung oder keinen Husten; Nur geht bald zu einem Doktor oder in a dispensary (Sieht die letzte Seite)

(頁 3 第 1 面 左)

Wie zu werden gesund wenn Ihr hat consumption

Wenn Ihr oder jemand von Ihrer Familie hat consumption, müsst Ihr befolgen die folgende Regeln, wenn Ihr wilt werden gesund:

Werft nicht Ihr Geld hinaus auf patentierte Medizinen oder reklamierte Heilmitteln, Nur geht zu einem Doktor oder in a dispensary (Sieht die letzte Seite), wenn Ihr geht beizeiten, könnt Ihr werden ausgeheilt, wenn Ihr wartet kann sein as es wird zu spät.

Trinkt nicht kein Schnaps oder andere Sorten Likör.

Schlaft nicht in einem Bet mit einem andern Person und wenn möglich schlaft in einem besonderen Zimmer.

Gute Speise, reine Luft und Ruhe sind die beste Heilungsmitteln, Seid auf der frischen Luft und Sonnen-schein wie viel so möglich.

Halt Ihre Fenster offen Winter und Sommer, bei Tag und bei Nacht. Wenn Ihr seid nur gut eingedeckt, wollt Ihr nicht Euch erkälten.

Tritt ein in a sanatorium bis wann Ihr könnt noch und es ist nicht zu spät.

Der vorsichtige und reine Schwindsüchtiger ist nicht gefährlich für diejenigen mit welchen er lebt oder er arbeitet zusammen.

Übergibt nicht Schwindsucht zu andern.

Viele erwachsene Menschen und Kinder haben consumption, allein nicht wissend davon. Und können das übergeben zu andern über das ZAL. Alle sogar gesunde Menschen (sollen) befolgen die folgende Regeln:

Speiet nicht auf die sidewalks, playgrounds oder auf die floors von Ihrem Haus oder school; Sie verspreit Krankheit und sie ist gefährlich, mies und ungesetzlich.

Wenn Ihr müsst speien, speiet in ein Abflussgraben oder in ein Spei-napf, was seiner Halb angefüllt mit Wasser. Als Ihr hust oder niest, halt ein Taschentuch über Ihr Maul oder Nase.

Nimmt diese Karte nach Hause und weist sie zu Ihrer Familie.

(頁 4 第一面右)

Freie dispensaries und Kliniken für die Heilung von Schwindstüchtigen:

Manhattan:

I Harlem Hospital Dispensary 136te Strasse und Lenox Avenue; offen jeder woherigen Tag von 3 bis 4 Uhr nachmittags.

II Presbyterian 70te Strasse und Meriser Avenue; offen jeder woherigen Tag von 1.30-3.30 nachmittags

III Vanderbilt Klinik 60te Strasse und Amsterdam Avenue offen jeder woherigen Tag von 1.30 bis 3.30 nachmittags; am Dienstag, Donnerstag und Samstag auch offen von 9.40 bis 11 Uhr vormittags.

IV Department of Health, 55te Strasse IND? 6te Avenue; offen von 10 Uhr vormittags bis 4 Uhr nachmittags jeder woherigen Tag. Am Montag, Mittwoch und Freitag auch offen von 8 bis 9 abends.

V New York Hospital, 8 West 16te Strasse offen jeder woherigen Tag von 2 bis 2.30 nachmittags.

VI Belle-Vue Hospital Dispensary, Ende von der east 26te Strasse offen jeder woherigen Tag von 1 bis 4.30 Uhr

nachmittags

VII Governor Hospital Water Strasse und im Ende von Governor Strasse, offen Montag, Mittwoch und Freitag von 2 bis 4 Uhr nachmittags

VIII New York Dispensary, 137 Center Strasse, offen jeder wocherigen Tag von 11 bis 12.30 nachmittags.

Brooklyn:

Department of Health, 361 Jay Strasse (Jay str.) offen jeder wocherigen Tag von 2 bis 4 nachmittags

Brooklyn City Dispensary; 11 Tillary Strasse (Tillary str.) offen jeder wocherigen Tag von 2 bis 4 nachmittags.

Die Bronx:

Department of Health, 3te Avenue und St. Pauls Place offen jeder wocherigen Tag von 2 bis 4 nachmittags

Für weitere information kehrt Sich zu Dr. DN. S. Billings, Chief of Division von ansteckenden Krankheiten,

Department of Health, 55te Strasse und 6te Avenue. N.Y.City.

【イディッシュ語文書邦訳】

(頁1 第一面左)

結核

この病気にかからないために、どんな風に生活することが必要か。

この病気を人にうつさないために、どんな風に生活することが必要か。

たんを吐いてはいけません

ニューヨーク市衛生局

医師トーマス・ダーリントン

医師ヘルマン・M・ビッグズ

健康コミッシヨナー

医官

一九〇七

(頁2 第二面右)

結核

は一言で言うと、たんを吐くという不潔な習慣によって引き起こされます。

この書類を家を持って行き、家族、友だち、隣人に見せてください。

結核は、長い病気で、他の人からうつることがあり、風邪からだけ起こるわけではありません、風邪が結核にかかりやすくすることもあります。

結核患者からせきやくしゃみで外に出される物質は、小さくて目には見えませんが、生きている病原体(結核菌)でいっぱいです。これらの病原体は、結核の原因で、人が吸い込むと、長い期間を過ぎて病気を引き起こします。

結核にうつらないようにしてください

できるだけ健康を保ってください。あなたの身体が強いほど、結核菌は身体に入りこむのがむずかしいのです。

みんなが次の規則を守ることが必要です。

あなたは、新鮮な空気の入らない部屋に住んだり、そこで勉強したり、寝たりしてはいけません。新鮮な空気と日光は、結核菌や他の病気を引き起こす病原菌を殺します。それですから、新鮮な空気と日光をあなたの部屋にできるだけ多く入るようにしなさい。

ほこりっぽい空気の中で生活してはいけません。部屋をきれいにしてください。ごみをぬれた布と洗浄用のブラシで

ふき取りなさい。乾いたほうきで掃いてはいけません。

あなたの寝室の窓を夜、少しだけ開けておきなさい。部屋の空気を一日二、三回入れ替えなさい。

汚い手で食事をしてはいけません。先に手を洗いなさい。手や鉛筆を口にに入れてはいけません。他の人が口に入れたキャンディやチューインガムも同じです。

鼻を拭いて汚れたハンカチをポケットにいれたままにしておいてはいけません。

少なくとも一週に一度、入浴しなさい。

風邪やせきをほうっておいてはいけません。すぐに医師あるいは診療所に行きなさい(最終頁参照)

(頁3 第二面左)

もしあなたが結核にかかっているとしたら、どのようにして健康になるか

もしあなたかあなたの家族のだれかが結核にかかっているとしたら、健康にもどるためには、次の規則をまもらなければいけません。

あなたのお金を、いわゆる特効薬や、宣伝されている治療法に使ってはいけません。なによりも医師あるいは診療所(最終頁参照)に行きなさい。適切な時期に受診すれば、完全に治ることができます。ただ待っていると、手遅れになることもあります。

シナップスやその他の種類の強い酒を飲んではいけません。

他の人と同じベッドに寝てはいけません、できればほかの人と離れた部屋で寝なさい。

よい食物、きれいな空気、休養が最良の治療薬です。できるだけきれいな空気と太陽の光の下でくらしなさい。

あなたの部屋の窓を、冬も夏も、日中も夜も開けておきなさい。もし布団をちゃんと着ていれば、風邪を引くことはありません。

あなたがまだできるうちに、手遅れにならないうちに、サナトリウムに入りなさい。

注意深く清潔な結核患者は、一緒に生活したり一緒に働いたりする人にとって、危険なものではありません。結核を他の人にうつしてはいけません。

多くの成人と子供が結核にかかつていて、それを知りません。そしてそれを関係のない他の人にうつす可能性があります。健康な人でも次の規則を守ることです。

歩道や運動場、家や学校の床にたんを吐いてはいけません。それは病気をうつすことがあり、危険で不潔で法律に違反しています。

たんを吐かなければならないときには、みぞに、あるいは水を半分入れたたんつぼに吐きなさい。

せきやくしゃみをするときには、口や鼻にハンカチをあてなさい。

この書類を家に持って行き、家族に見せて下さい。

(頁4 第一面右)

結核患者治療のための無料診療所・病院

マンハッタン

I ハーレム病院診療部・136丁目・レノックス街

診療時間…週日毎日、午後3時から4時まで

II プレスビテリアン…70丁目・メリッサ街

診療時間…週日毎日、午後1時30分から3時30分まで

III ヴァンダーピルト・クリニック…60丁目・アムステルダム街

診療時間…週日毎日、午後1時30分から3時30分まで

火曜日、木曜日、土曜日には午前9時40分から11時までにも診療

IV 衛生局・55丁目・6番街

診療時間…週日毎日、午前10時から午後4時まで

月曜日、水曜日、金曜日には、夜8時から9時までにも診療

V ニューヨーク病院…西16丁目8

診療時間…週日毎日、午後2時から2時30分まで

VI ベルビュール病院診療部…東26丁目突き当たり

診療時間…週日毎日、午後1時から4時30分まで

VII ガヴァナー病院…ウオーター通りおよびガヴァナー通り端

診療時間…月曜日、水曜日、金曜日の午後2時から4時まで

VIII ニューヨーク診療所…センター通り137

診療時間…週日毎日、11時から午後12時30分まで

ブルックリン

衛生局…ジェイ通り361

診療時間…週日毎日、午後2時から4時まで

市立ブルックリン診療所…ティラリー通り11

診療時間…週日毎日、午後2時から4時まで

ブロンクス

衛生局…3番街・セントポールス・プレイス

診療時間・週日毎日、午後2時から4時まで

さらに情報が必要な場合は、衛生局、感染症部門主任、D.Z.S. ピリンクス医師、55丁目・6番街、ニューヨーク市、にお問い合わせ下さい。

四、この文書の背景と医学的意義

この文書の背景となったニューヨークのユダヤ人について、説明したい。

アメリカ合衆国へ多くのユダヤ人が移民として移住し、その大部分が都市に住んだ。とくに十九世紀末から二十世紀初頭へかけて、多数のユダヤ人がアメリカに移住し、そのほとんどが東欧からの移住者であった。一八八一年から一九二〇年までの四〇年間に二〇〇万人以上のユダヤ移民が入国し、その九五%以上が東欧系である。一九二八年、合衆国に住む四二〇万人のユダヤ人のうち、三五〇万人が東欧出身であった。これら東欧系ユダヤ人は、共通語としてイディッシュ語を用い、アメリカ移住後も長くイディッシュ語が使われた。⁽¹⁵⁾⁽¹⁷⁾

この時期に多くのユダヤ人が移住してきた原因はいくつかあるが、そのひとつは十九世紀末ロシアに起こったユダヤ人迫害である。⁽¹⁵⁾⁽¹⁶⁾イディッシュ語作家シヨール・アレイヘムの作品に基づいたミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」は、この事情を骨組にしている。いずれにしても、短期間にこのような多数の移民を迎えたことは、種々の社会問題を引き起こした。

ニューヨークのユダヤ人人口は、これらの大流入をむかえて、一八九〇年二〇万人、一九〇〇年に七〇万人、一九一〇年に一二五万人となった。これらのユダヤ人は、一九〇〇年にはニューヨーク市の人口の一一%を占めた。ニューヨークのユダヤ人が合衆国全体のユダヤ人人口に占める割合も、一八八〇年の三三%から一九二〇年の四五%に増加した。⁽¹⁵⁾全米ユダヤ人の半数近くがニューヨークに住んだことになる。

これらのユダヤ人もっとも多く住んだのはマンハッタン、とくにローワーイーストサイドと呼ばれる地域（マンハッタンの南寄り、イーストリバー沿い）であった。過密な状態でこれらの地域に住んだユダヤ人の生活実態について、野村達郎が詳しく記述している¹⁵ので、それを参照されたい。佐藤唯行によれば、同地区は当時、インドのボンペイを除けば、地球上でもっとも過密な都市空間であった¹⁶。

この過密な生活の中で問題の一つとして起こったのが、病氣とくに結核であった¹⁵。この文書は、それらの移住して来た東欧系ユダヤ人を対象として、ニューヨーク市衛生局が作成・頒布したものである。

野村によれば、一九〇六年ローワーイーストサイドのユダヤ人一〇〇〇人中、一二人が結核におかされていた。野村は「イーストサイドでは結核も含めて病人の九〇％は家で看病されており、貧しい人びとはなかなか病院に行こうとしなかった。迷信的なまじないや民間薬がしばしば用いられた」と書いて¹⁵いるが、この文書の文面と比較して興味深い。著者は先に、この文書の医学的内容について次のように述べた¹⁶。

(一) 結核対策を集団的施策によらず、「たんを吐くな」というような個人的方策によっていること。個人衛生の考え方で処理しようとしていること。

(二) 早く受診すれば完治するとあり、治療上の楽観主義に立っていること。

(三) 結核患者の無料診療を主として民間施設の協力によっていること。後にニューヨーク市は市立病院を設立して貧しい患者の無料診療を行うが、この時点では、そうした方針は採られていない。

その後、著者は当時のニューヨーク市衛生局幹部による「社会的な病としての結核」という論文（講演記録²⁰）を入手したが、それによると、ニューヨーク市衛生局は、この文書に見られるよりも遙かに広範な組織的対応が必要と考えていた。この論文では、胸部検診やサナトリウムの必要性が明確に主張されており、結核の根本的対策は患者教育であると¹⁵言いきっている。また市立の医療機関はすでに存在したが、最重症の患者のみを収容するため、結核の初期治療機関に

はなり得なかつたということのようである。これらの点は、前記の記載を訂正したい。ちなみにこの論文の中では、学童期の結核患者六千人、成人の重症結核患者 (tuberculous invalids) 五万人という数字が挙げられている。この論文には (強制) 隔離という言葉がなく、他の文献⁽²¹⁾を見ても感染予防の手段として喀痰の処理がもっとも重視されている。最近のわが国におけるハンセン病患者対策に対する批判と比べて興味深い。後述の結核展示のリーフレットでは、ニューヨーク市の年間結核死亡者数一万人となっている。

またこの論文では、文書中にある「いわゆる特效薬 (patent medicine)」の例として Peruna という名前を挙げ、このような「いわゆる特效薬」のために毎年全米で二億ドルが費やされているとしている⁽²⁰⁾。

イディッシュ語文書には書かれていないが、ユダヤ人団体が設立した医療機関も存在し、活発な活動が行われていた。もっとも有名なものが、マウント・サイナイ病院である。これらの医療機関あるいはユダヤ人団体の活躍によって、衛生を重視する宗教的規制など他の要因も関係して、結核患者が多かつたのにかかわらず、出身民族別に見ると、ニューヨークのユダヤ人の結核による死亡率はもつとも低かつたとい⁽¹⁵⁾う。

五、類似の内容を持った英文文書

イディッシュ語文書解説後、正橋は文書類を再調査して、同じような内容を持った英文文書を発見した。イディッシュ語文書が、英文文

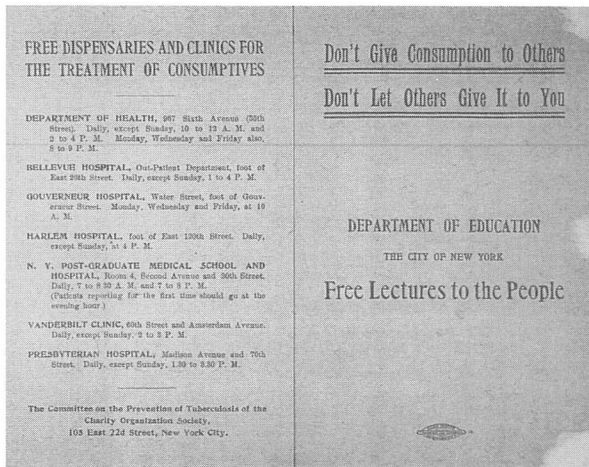


写真 3 英文文書第一面

書を原本としてその翻訳である可能性も考えられたが、両者の間には明白な差があり、別の資料として作成されたことは疑いない。その文面を記載する。

[英文文書] (写真3, 4)

一頁 (一面右)

Don't Give Consumption to Others

Don't Let Others Give It to You

DEPARTMENT OF EDUCATION

THE CITY OF NEW YORK

Free Lectures to the People

二頁 (二面左)

HOW TO PREVENT CONSUMPTION

The spit and the small particles coughed up and sneezed out by consumptives, and by many who do not know that they have consumption, are full of living germs too small to be seen. THESE GERMS ARE THE CAUSE OF CONSUMPTION.

DON'T SPIT on sidewalks—It spreads disease, and it is against the law.

DON'T SPIT on the floors of your rooms or hallways.

DON'T SPIT on the floor of your shops.

HOW TO PREVENT CONSUMPTION	HOW TO CURE CONSUMPTION
<p>The spit and the small particles coughed up and sneezed out by consumptives, and by many who do not know that they have consumption, are full of living germs too small to be seen. THESE GERMS ARE THE CAUSE OF CONSUMPTION.</p>	<p>DON'T WASTE YOUR MONEY on patent medicines or advertised cures for consumption, but go to a doctor or a dispensary. If you go in time YOU CAN BE CURED; if you wait until you are so sick that you cannot work any longer, or until you are very weak, it may be too late; at any rate it will be the sad men here, time out of work and more wages lost than if you had taken care of yourself at the start.</p>
<p>DON'T SPIT on sidewalks—it spreads disease, and it is against the law. DON'T SPIT on the floors of your rooms or hallways. DON'T SPIT on the floor of your shop.</p>	<p>DON'T DRINK WHISKEY, beer, or other intoxicating drinks; they will do you no good, but will make it harder for you to get well.</p>
<p>WHEN YOU SPIT, spit in the gutters or into a spittoon. Have your own spittoons half full of water, and clean them out at least once a day with hot water.</p>	<p>DON'T SLEEP IN THE SAME BED with anyone else, and, if possible, not in the same room.</p>
<p>DON'T cough without holding a handkerchief or your hand over your mouth. DON'T live in rooms where there is no fresh air. DON'T work in rooms where there is no fresh air.</p>	<p>GOOD FOOD, FRESH AIR, AND REST are the best cures. Keep in the sunshine as much as possible, and KEEP YOUR WINDOWS OPEN, winter and summer, night and day—fresh air, night and day, is good for you.</p>
<p>DON'T sleep in rooms where there is no fresh air. Keep at least one window open in your bedroom day and night. Fresh air helps to kill the consumption germs.</p>	<p>GO TO A HOSPITAL WHILE YOU CAN AND BEFORE IT IS TOO LATE. There you can get the best treatment; all the rest, all the fresh air, and all the food which you need.</p>
<p>Fresh air helps to keep you strong and healthy. DON'T eat with soiled hands—wash them first. DON'T NEGLECT A COULD or a cough.</p>	<p>THE CAREFUL AND CLEAN CONSUMPTIVE IS NOT DANGEROUS TO THOSE WITH WHOM HE LIVES AND WORKS.</p>

写真 4 英文文書第二面

WHEN YOU SPIT, spit in the gutters or into a spittoon. Have your own spittoon half full of water, and clean them out at least once a day with hot water.

DON'T cough without holding a handkerchief or your hand over your mouth.

DON'T live in rooms where there is no fresh air.

DON'T work in rooms where there is no fresh air.

DON'T sleep in rooms where there is no fresh air.

Keep at least one window open in your bedroom day and night.

Fresh air helps to kill the consumption germs.

Fresh air helps to keep you strong and healthy.

DON'T eat with soiled hands—wash them first.

DON'T NEGLECT A COLD or a cough.

三頁 (二面右)

HOW TO CURE CONSUMPTION

DON'T WASTE YOUR MONEY on patent medicines or advertised cures for consumption, but go to a doctor or a dispensary. If you go in time YOU CAN BE CURED; if you wait until you are so sick that you cannot work any longer, or until you are very weak, it may be too late; at any rate it will in the end mean more time out of work and more wages lost than if you had taken care of yourself at the start.

DON'T DRINK WHISKEY, beer or other intoxicating drinks; they will do you no good, but will make it harder for you to get well.

DON'T SLEEP IN THE SAME BED with any one else, and, if possible, not in the same room.

GOOD FOOD, FRESH AIR, AND REST are the best cures. Keep in the sunshine as much as possible, and KEEP YOUR WINDOWS OPEN, winter and summer, night and day-fresh air, night and day, is good for you.

GO TO A HOSPITAL WHILE YOU CAN AND BEFORE IT IS TOO LATE. There you can get the best treatment, all the rest, all the fresh air, and all the food which you need.

THE CAREFUL AND CLEAN CONSUMPTIVES IS NOT DANGEROUS TO THOSE WITH WHOM HE LIVES AND WORKS.

四頁 (一面左)

FREE DISPENSARIES AND CLINICS FOR THE TREATMENT OF CONSUMPTIVES

DEPARTMENT OF HEALTH. 967 Sixth Avenue (55th Street), Daily, except Sunday, 10 to 12 A.M. and 2 to 4 P.M. Monday, Wednesday and Friday also, 8 to 9 P.M.

BELLEVUE HOSPITAL, Out-Patient Department, foot of East 26th Street. Daily, except Sunday, 1 to 4 P.M.

GOUVERNEUR HOSPITAL. Water Street, foot of Gouverneur Street. Monday, Wednesday and Friday, at 10 A. M.

HARLEM HOSPITAL, foot of East 120th Street. Daily, except Sunday, at 4 P.M.

N.Y. POST-GRADUATE MEDICAL SCHOOL AND HOSPITAL, room 4, Second Avenue and 20th Street, Daily, 7 to 8.30 A.M. and 7 to 8 P.M.

(Patients reporting for the first time should go at the evening hour.)

VANDERBILT CLINIC, 60th Street and Amsterdam Avenue. Daily, except Sunday, 2 to 3 P.M.

PRESBYTERIAN HOSPITAL, Madison Avenue and 70th Street. Daily, except Sunday, 1.30 to 3.30 P.M.

The Committee on the Prevention of Tuberculosis of the Charity Organization Society,
105 East 22d Street, New York City.

文面に見るように、イディッシュ語文書の発行者はニューヨーク市衛生局 (Department of Health) となっているに、英文文書は教育局 (Department of Education) である。また英文文書は、無料講演と明記されており、講演レジユメとして配布された可能性がある。結核治療のための医療機関も、イディッシュ語文書にはブルックリン、ブロンクスも含まれるが、英文文書はマンハッタンのみである。医療機関名、診療時間等も微妙に異なっている。

正橋が調査した他の文書に、アメリカ自然史博物館 (マンハッタンにある) における結核展示のプログラムがあり、その中で啓蒙講演が行われることが記されているので、英文文書はあるいはこの講演などの際のレジユメかも知れない。ちなみにこの啓蒙講演の講演者の一人は、イディッシュ語文書に名前の出たダリーントン医師であり、一人は前記論文の著者クノップ医師である。「結核と労働組合」の項では、著名な労働指導者サミュエル・ゴンパーズ (一八五〇—一九二四)⁽²⁾ の名も見られる。以下プログラムの内容を記載する (分ち書きを、続けて記載)。

American Tuberculosis Exhibition at the American Museum of Natural History
Columbus avenue and 77th street

under the auspices of The National Association for the Study and Prevention of Tuberculosis and The Committee
on the Prevention of Tuberculosis of the Charity Organization Society
From Monday, November 27th to Saturday, December 9th

open day and evening

This Exhibition shows the methods that are being adopted throughout this country and in Europe to prevent and cure consumption-a preventable disease that killing every year in New York City alone, 10,000 persons.

Addresses will be delivered in the large lecture hall of the Museum, at eight p.m., as follows:

November 27th

By Hon. George B. McClellan

Hon. Thos. Darlington, M.D.

Mr. Morris K. Jesup and

Mr. Talcott Williams

November 29th

Tuberculosis and Labor Unions

By Mr. Samuel Gompers

Prof. Graham Taylor

Mr. J. W. Sullivan

Edward T. Devine and others

December 1st

Tuberculosis and the Medical Profession

By Dr. Lawrence F. Flick

Dr. Vincent Y, Bowditch

Dr. Wm. A. Evans and others

December 8th

Tuberculosis and the Schools-

The Teacher's Part in the Tuberculosis Problem

By Dr. S. A. Knopf

ADMISSION FREE

いずれにしても、結核患者が多かつたのはユダヤ人だけではないので、英文文書は、広く一般住民を対象として啓蒙講演が行われた時に用いられたものであろう。これに対して、イディッシュ語文書は、ユダヤ人移住者を対象とした住民集会で配布されたものと考えられる。文面の類似から、両方に共通の基本資料があつたと推定される。

六、この文書の意義

この文書は次の三点において、重要であると思われる。

(一) 当時はドイツ留学が主流で、ドイツに比べてアメリカ医学についての医史学史料は少ない。とくに公刊された文献でない、このような広報資料の一次史料は貴重であり、アメリカの行政当局が結核対策をどのように実施していたかを示している。

(二) この文書は、我国で発見された医史学史料の内、イディッシュ語で書かれた最初のものと思われる。我国でも、定住外国人人口の増加により、行政当局が広報文書を日本語以外の言語で発行する必要が起こっている。このような多文化社会、多言語社会における医史学史料研究に言語研究が重要であることを、この文書は示唆している。

(三) 日本のイディッシュ語研究者にとっても、入手困難な古い時代の医学史料であること、古い文体を残していることから有益であろう。

この貴重な史料を恵与された寺畑喜朔金沢医科大学名誉教授に深謝する。

(この論文の要旨は、平成一三年九月、第一〇二回日本医史学会総会で発表した)

参考文献

- (1) 金沢大学医学部百年史編集委員会『金沢大学医学部百年史』五三八―五三九頁、金沢大学医学部創立百年記念会、一九七二年
- (2) 「松原三郎氏通信」『十全会雑誌』五一号、明治四一年十一月(一九〇八年)
- (3) 寺畑喜朔「松原三郎教授と米国留学」『北陸英学史研究』第五輯、一九九二年
- (4) 秋元波留夫「日本精神医学の開拓者——松原三郎の人と業績」『臨床精神医学』八巻十号、一九七九年
- (5) 岡田靖雄「戦前合州国に留学した精神病学者たち(上)——松原三郎、斎藤玉男、石田昇ほか」『日本医史学雑誌』四〇巻三号、一九九四年
- (6) 山口成良「わが国の神経精神医学の開拓者松原三郎」『十全同窓会報』一六九号、一九九八年
- (7) 高階美行「ユダヤ諸語」『言語学大辞典第四巻』、六〇〇―六一四頁、三省堂、一九九二年
- (8) 上田和夫「イディッシュ語文法入門」、大学書林、一九八五年
- (9) 上田和夫「エクスプレス イディッシュ語」、白水社、二〇〇〇年
- (10) 上田和夫「イディッシュ語常用六〇〇〇語」、大学書林、一九九三年
- (11) Weinreich, Uriel: *Modern English-Yiddish, Yiddish-English Dictionary*, Schocken Books, New York, 1977
- (12) ジャン・ポーム・ガルテン著、上田和夫・岡本克人訳「イディッシュ語」、白水社クセジュ文庫、一九九六年

- (13) 上田和夫『イディッシュ文化』、三省堂、一九九六年
- (14) 本名信行「アメリカの多言語問題」三浦信孝編『多言語主義とはなにか』、藤原書店、一九九九年
- (15) 野村達郎『ユダヤ移民のニューヨーク』、山川出版社、一九九五年
- (16) ラビ・リー・J・レヴィンジャー著、邦高忠二・稲田武彦訳『アメリカ合衆国とユダヤ人の出会い』、創樹社、一九九七年
- (17) 松尾式之『民族から読みとく「アメリカ」』、講談社選書メチエ、二〇〇〇年
- (18) 佐藤唯行『アメリカのユダヤ人迫害史』、八一頁、集英社新書、二〇〇〇年
- (19) 泉彪之助「故松原三郎博士遺品中の一文書、イディッシュ語で書かれた医史学資料」(学会抄録)『日本医史学雑誌』四七巻
三号、二〇〇一年
- (20) Knopf, S.A.: Tuberculosis, A Social Disease, Johns Hopkins Hospital Bulletin, 189: 393-405, 1906
- (注) 著者はニューヨーク市衛生局肺疾患外来の Associate Director
- (21) Tuberculosis (書評), Arch. Int. Med.: 5: 538, 1910
- (22) The Encyclopedia Americana 13, 65p. Grolier Inc., 1992

(介護老人保健施設 陽翠の里、(医) 白雲会)

A Document Left by the Late Prof. Saburo Matubara, a Medico-Historical Material Written in Yiddish

Hyonosuke IZUMI and Kohji MASAHASHI

The late Prof. Saburo Matubara was professor of psychiatry at Kanazawa Medical Academy and later at Kanazawa Medical College (now Kanazawa University Medical School). Among the articles he left, the authors found a document written in Yiddish, which turned out to be a publicity material on prevention and cure of tuberculosis issued in 1907 by the Department of Health, City of New York for Jewish emigrants. As the authors believe this is the first medico-historical material written in Yiddish and found in Japan, its content and its medical, linguistic and historical backgrounds are reviewed. The document suggests the importance of linguistic study on medico-historical materials in multicultural and multilingual society.